

将棋部

現部長 吉田 一英

前部長 石本 仰

顧問 平泉 信吉先生

将棋部と聞くと、将棋をただただ指しているような暗いイメージはありませんか？確かに集中して指す時は空気が張り詰めますが、指し終わった後は皆談笑しながらここはこうするべきだったとか、ここでこうしたらどうなっていたか、などと反省をします。なのでいつも息がでないくらい静か、と言う訳ではありません。

ところで将棋はどこか昔の遊びのようになってきてきている気がしませんか？僕はそう思います。ゲームと聞くとテレビゲームや携帯ゲーム機、という時代です。今は。しかし、そんな時にこそ、昔からある遊びという物が再評価されるべきではないでしょうか。将棋は、戦略ゲームの元祖とも言うべきものですが、かなり楽しいです。最終局面で相手を詰む時の達成感、そして自分なりの戦い方を確立し、その有効性について考える時の満足感、そして相手をうまく罠にはめた時のしめしめ感。これはコンピュータ相手では体感することができないものです。この楽しみを知ると、将棋もただ指すより数倍楽しくなります。この部活は、そんな楽しみを知った人達の集まりです。

